

## 群馬県土地改良事業団連合会(測量・設計技師)

私は、群馬県土地改良事業団連合会に内定を頂きました。私がこの進路を目指そうとした時期は3年生の1学期頃でした。進路を選択するのに遅いと思いましたが、担任の先生や多くの先生方に勧めて貰ったのがきっかけで希望先を決める事が出来ました。

私が勢多農林高校に入学した理由は、友達もいるし、楽しそうだからという単純なものでした。しかし、測量や土木施工、水循環などの専門的なことを勉強していく中で、私は高校で学んだことを活かした仕事をしたいと思うようになりました。私が受かることが出来たのは、分かるように教えてくれた先生方や面接練習をしたり勉強を教え合ったりした友達の支えがあったからだと思います。ここまでやってこられたのは、教えて貰ったり話を聞いてくれたりして関わってくれた人全てのお陰だと思い、とても感謝しています。

私は、この事を通して人との関わりや繋がりが大事だと改めて感じる事が出来ました。本事業団連合会職員として努力して勤めていきたいと思いました。

## 古川牧場株式会社(酪農業)

私は古川牧場株式会社に内定を頂きました。私がこの進路を目指そうと思ったのは、3年生の7月頃でした。

私が勢多農林高校に入学した理由は、動物が好きであることと、それまでの自分を変えたいと思ったからで、当時進路については就職することまでしか考えていませんでした。しかし、夏休み中に行った研修をしっかりとやり遂げられたことで、酪農業に就きたいと思う気持ちが強くなりました。

酪農業に就きたいと思った理由は、小学校入学前から大型犬を飼っていたため大きい動物になれていたことと、単に牛の可愛さに惚れたことです。夏休みには研修を行いました。その研修は4泊5日で牛の飼育以外に自炊や洗濯等の家事などの実習も行いました。最低限の家事はでき体力はあるので、研修中の作業は無理することなく行う事が出来ました。早朝からの作業も遅刻せずに行い、研修を無事に終えることができ、酪農業に就く自信ができました。

周りの人達の支えに感謝し、人や牛とのコミュニケーションを大切に一生懸命働いていきたいと思っています。